

第12回全国銀行大会における総裁講演要旨

本日ここに第12回全国銀行大会の開催せらるるに当り、最近の金融経済につき、いささか所見を申し述べる機会を得ましたことは、私の最も欣幸とするところであります。

願いますれば、昨年6月、私は前回の大会におきまして、金融引締めの実施につき私の決意を申し述べ、金融界を代表せらるる各位に対し、ともに難関克服に当つていただくようお願いいたしましたのでありますが、爾來1年を経ました今日、その目標としたところをおおむね順調に達成しつつあると申しうるようになりましたことは、金融に携わる者としてまことにご同慶に堪えざる次第でありまして、ここに各位の御協力に対し深く敬意を表するものであります。

〔当面の経済動向と問題点〕

わが国経済の現状をみまするに、昨年5月以来の金融引締めの効果はすでに相当顕著な進展を示しております。すなわち、まず国際収支は比較的急速に改善せられ、物価も国際的な割高がかなり是正されたのを始めといたしまして、最近では企業の生産調整が本格化し、投資態度もようやく慎重になって参るなど、輸出入、商品需給、資金需給いずれの面におきましても、均衡回復の動きが目立つてきております。したがいまして、今日におきましては、金融引締めによる調整過程は、いわば仕上げの段階に入つたと申して差支えないものと考えます。今般公定歩合の引下げを実施いたしましたのも、このような情勢の発展に即応し、金融の正常化を進めて参らんがためにほかならないのであります。またこれに伴いまして、銀行貸出金利が、各位の自主的な申合せによつて引下げられることと相成りましたことは、真に時宜を得た措置と存するのであります。

しかしながら、わが国経済の前途には、まだ残された問題も少なくないのでありまして、この際

これにつきまして若干の所見を申し述べたいと存じます。まず国際経済の動向についてであります。世界的な景気後退の先行きにはまだ必ずしも明るさを見出し難いのであります。もとより、戦後における各国の経済構造の変化や景気対策の進歩などを考えますれば、激しい不況に陥ることは避けられると存じますが、少なくともここ当分積極的な景気上昇は望み難いのではないかと思うのであります。かかる環境の中においては、わが国としてもその影響を強く受けざるをえないのであります。とりわけ注目を要しますことは、これまでかなりの伸びを示してきた世界貿易が、昨年年末頭打ちの様相を呈するに至つたことであります。近來わが国の国際収支は相当改善せられたとは申しますものの、それは主として輸入の著しい減少によるものであつて、輸出はあまり増加しておらず、最近ではむしろ減少の徴候さえうかがわれるのでありまして、只今申し述べました世界貿易の停滞やこれに伴う輸出競争の激化とも考え合えますと、前途まことに容易ならぬものを覚えるのであります。このような世界経済の現況に願いますれば、今や世界貿易の停滞やいわゆる国際流動性の不足などについて、その打開策が考えられねばならぬと思うのでありまして、国際機関や主要諸国を中心とする積極的な国際協力を期待したいのであります。しかしながら、いずれにいたしましても、外貨準備がまだ十分とは申し難いわが国の現状におきましては、輸出の増強を以て経済の本格的な立直りを図る道はないのでありまして、私共といたしましてはあくまでこれを目標としつつ、経済の地固めを着実に進めて参ることが先決と存するのであります。

次に国内における調整過程についてであります。生産や在庫の調整が相当進捗して参つたことは確かであります。また多過ぎる製品在庫を擁して

おり、在庫調整が完了したとは言えないのであります。こういう段階で、もし金融緩和などに対する安易な期待感から生産の調整にゆるみを生ずるようなことがありますれば、それはただ経済の停滞を一層長びかせるだけであります。さらに、この際とくに注意を要しますことは、近く在庫の調整が完了するといたしましても、なおその根底に企業経営自体の合理化、広く申して経済の体質改善という問題が残っているということでもあります。今後の困難な内外情勢に顧みますならば、在庫調整の完了後におきましても、企業をとりまく諸条件には、なお引続き厳しいものがあるかと申さざるをえないのでありまして、これに企業が自ら耐えうるような態勢を、経営合理化、財務改善などの努力によつて確立いたして参ることが何よりも大切と存じます。このような着実な経済正常化への努力を通じてこそ、将来の健全な経済拡大への道もおのずから開けて参るものと考えております。

〔金融政策の基本方向〕

以上申し述べましたように、今次金融引締めは、通貨価値の安定を確保し国際収支の悪化に対処して参る上に相当顕著な成果を挙げたのでありますが、これに伴つて金融の動向にも、引締め当初の異常な逼迫から次第に需給の改善をみるなど、相当の変化を生じているのであります。このように金融経済の基調が次第に落ち着きを回復して参るに伴い、政策運営の態度なり重点なりに変更を要するに至ることは当然でありまして、この際は公定歩合を引下げこれを契機として金融の正常化を促進して参るべき事態と判断いたしましたのであります。しかして今日私共の取組まねばならぬ課題は、再び先般のごとき経済拡大の行過ぎを繰り返さないためには、どうすればよいかという長期的な観点に立つた問題でありまして、実はこれこそ正に金融正常化の問題にはかならないのであります。金融正常化の具体的目標としては、金利体系の是正と金利の弾力性回復、支払準備の充実、資本市場の拡大強化などが挙げられるのであります

が、これを要するに、金融正常化の眼目は、金融本来の調整機能を十分に生かすための態勢を整備するというに帰着するのであります。このようにして初めて金融政策の一層有効適切な運営も可能となるのでありまして、これによつて経済の激動を避けつつ、その安定的な発展を図つていくことができると思ふのであります。

しかしながら、金融正常化を推進すると申しましても、それはあくまで現実を遊離したものであつてはなりません。もとより金融情勢に改善の徴候が出て参りましたために、金融の正常化を進めようになつたのではありますけれども、正常化の目標はこれを一举に実現いたすというわけには参らぬのでありまして、この際としては金融の実勢に即し一歩一歩、着実に前進を図つていくことが肝要であると考えます。

〔銀行に対する要望事項〕

次に私はこの機会におきまして、特に各位に対し、若干の希望を申し述べさせていただきますと思ひます。

昨年5月の金融引締め実施以来、わが国経済の安定のため金融に課せられた使命には、真に重大なるものがあつたと思ひのでありますが、金融界がよくこれを自覚せられ、わが国経済の難関克服に力をいたされまされたことは、まことに心強く存する次第であります。もとよりこれは、ひとり金融界のみのよくするところではなく、政府はじめ各界挙げての努力によるものでありますが、この1年を振り返りますとき、改めて国民経済運営上における金融機関の役割の重要さに深く思いをいたさざるをえないのであります。経済の自由かつ自主的な運営が是とされますゆえんのもの、ひとつには金融がそのかなめとして調整的な役割を果たすことが期待されているからであります。私共が今後金融の正常化を推進して参ることを念願としておりますのも、一にこの役割をより良く果さんがためにほかなりません。この意味において、私は、金融機関がこの役割を、昨今の引締め下の緊急事態においてのみならず、常日ごろから遺憾

なく果されることを切に望むものであります。そのためには、まず自らが真に金融機関たるにふさわしい姿になること、すなわち健全金融の原則に徹せられることが第1であります。広い全般的視野と良識とをもつて国民の信頼を博されるということが第2であります。この健全性と公共性とを貫いてこそ、金融機関の自主性も確保されるものと考えるのであります。

このような見地から、とくに金融正常化の問題に関連して各位に要望いたしたいことは、この際、オーバー・ローンのは正と資産の流動性向上について、格段の努力を払っていただきたいことでもあります。このような資産運用の正常化こそ、金融正常化の根底をなすものであります。最近では財政資金の散布や一般の資金需要の落ち着きから、銀行の資金事情も好転しつつありますので、今こそ日本銀行依存の脱却につとめ、正常な資産運用態度を確立して参る絶好の機会なのであります。これに関連して、とくに要望いたしたいことは、過去に見ましたような競争の行過ぎを再び繰り返すことなきよう、この際厳に自戒していただきたいという点であります。銀行間における行過ぎた競争がどんな事態を導くかということについては、今更申すまでもなく、われわれは誠に苦い、しかも高価な経験を経たのでありまして、今後はかかる事態を再び繰り返すことのないよう、金融界全体として深く思いをいたすべきところと存するのであります。

次に銀行のいわゆる公共的使命についてであります。私は銀行がまず健全金融に徹することが、最もよく公共的使命に応えうるゆえんであると考えております。このような健全性を前提といたした上で、量的に限られた資金を国民経済的に最も有効に活用するようご配慮願いたいのであります。最近資金需要が落ち着きを取り戻しつつあるとはいえ、今後輸出振興や経済基盤強化などのために必要とせらるる資金は決して少なくないのでありまして、これらを充すためにも不急部門などには引

続き厳然たる態度をもつて臨んでいただきたいのであります。このような資金運用の問題につきましては、何よりもまず銀行の良識と自主性に期待したいのでありまして、各位におかれましても相協力せられ、この社会的責任の遂行に遺憾なきを期せられたいと思います。

さらにこの際改めて強調いたしたいのは貯蓄の増強についてであります。昨年来の困難な経済情勢下におきましても、安定的な貯蓄が着実に増加いたしたことは、まことに心強い次第と存じますが、今後における経済の安定的成長の基盤も貯蓄増強によつて初めて築きうるわけでありまして、これがためには、各位と共にあらゆる努力を傾注して参りたいと存じます。

〔む す び〕

これを要するに、昨年来の金融引締め経過を回顧いたしますときに、私は金融政策のわが国経済における役割の重大なることを改めて痛感いたすものであります。しかし金融本来の役割は、昨年のごとき緊急事態に対処するという点よりも、むしろ平常時においていかによく経済の安定に寄与しうるかという点にありますことはすでに申し述べたところであります。しかも平常時における金融の役割の方がはるかに難しいのでありまして、これが今や私共の最大の課題となつて参つたのであります。金融の正常化はこの課題を果すための前提であり、今後私は、これを是非とも促進して参りたいと念じております。私といたしましては、当面とくに金利の弾力性回復、公開市場操作の条件整備を目標として、所要の施策は事情これを許す限り着々実施して参る所存であります。これにつきましては政府の措置に期待いたすべきものもありますが、しかし帰るところ金融の正常化は金融界全般の問題でありまして、私は各位と相携え、一步一步着実にその前進を図つて参りたいと存ずる次第であります。

これをもつて私のご挨拶を終わります。

(昭和33年6月23日)